



北九州知ろうっちゃ!



北九州 ESD 協議会のサブコーディネーターである北九州市立大学地域創生学群の ESD プロモート実習 1 年生が「北九州市」を拠点としてご活躍されている 3 名の協議会会員の方にオンラインで取材を行いました。



16

平和と公正を
すべての人に

「聞き書き」により平和への願いをつなぐ



西門司市民センター館長 渡辺 いづみ 様

その地域ならではの歴史や戦争・自然災害を乗り越えてきた人々の話を聴き、言語化して原稿にまとめる「聞き書き」という手法を用い、証言集を作成していく活動を行っています。その中で、お話される人が当手を振り返って元気になられたり、それを聴く人が経験や知恵を共有するこの事業は、学びの宝庫だとおっしゃいます。

この取り組みに参加することで、次なる語り部にもなり得るため、「特に若者に知ってほしい。歴史を次世代に伝え残すことが私たちの使命」だと述べられていました。

15

陸の豊かさも
守ろう

魅力再発見 ジオから学ぶ北九州!



ジオ & バイオ研究会 会長 杉野 広利 様

2021 年の 5 月で 11 年目を迎えるジオ & バイオ研究会は、ジオ（地質）やバイオ（生物）を観察や、それらが育む人間の歴史や生活を研究しています。

北九州市の魅力発信のために、3 年かけて、北九州市の特色を俳句にし取り入れた「ジオかるた」を作成されました。今年度は、「ジオかるた」を用いたかるた大会や、皿倉山など北九州市の自然を体験できるジオハイクを行う予定でしたが、コロナウイルスの影響を受け、多くのイベントが中止となっています。

「今後はインターネットを生かしたイベントを行なっていきたい。また、「ジオかるた」をさらに 300 組作り、市民センターなどに配布するので、SDGs の出前講座などで使って欲しい」とおっしゃっていました。

14

海の豊かさを
守ろう

“地域のために”その思いから始まった海岸清掃



私たちの未来環境プロジェクト代表 池本 真一 様

“地域のために何かできないか”と思い、「私たちの未来環境プロジェクト」を立ち上げ、メンバーの趣味や専門性を生かした、地域貢献にご尽力されています。中でも中原海岸周辺や馬島での清掃活動は、ボランティアを募り、地域をきれいにすることはもちろん、活動を通してさまざまなことを感じたり、学んだりすることを目的に 11 年間にも渡って活動されてきました。

「さまざまな活動に取り組んでいますが、どれも点と点で行われており、その点と点の活動を線で結ぶことが私の目標です。つながりや横の連携を活かした、北九州市ならではの緩やかな地域循環型の仕組みを作っていきたいと思っています」



fashion

皆さんは、ファストファッションの服を購入されたことはありますか？ 私は、タンスの8割以上がファストファッションブランドの服であるくらい、とてもよく利用していました。

皆さんは「ザ・トゥルー・コスト〜ファストファッション 真の代償〜」という映画をご存知ですか？この映画を見て何も考えずに買い物する怖さを知りました。

映画では、ファストファッションの裏側として労働環境の悪さなどが取り上げられています。「ファストファッション業界の縫製工場に働いている労働者の健康状態は、危険にさらされ続けています。長時間労働、非衛生的な環境での労働、そしてしばしば身体的虐待によって危険な目にあっているのです。

「ファストファッションの服を作る人々のほとんどは、長時間労働しているうえに最低賃金ぶんのお金しか支払われず、その日暮らしのぎりぎりな生活をしています。ほかの選択肢がほとんどないために、このような劣悪な環境で働くしかないのです。安い服を売るために、おさえられるコストは労働力です。布地の価格はどこもほとんど変わらないため、安い服を作るために減らすコストは労働者の賃金になるのです。服の安さは、安価な縫製工場で働く労働力の上に成り立っているといえます」^(※)

また「衣服製造は“環境負担の多い産業”」と言われており、なんと日本では年間約100万トンの衣服が廃棄されています。廃棄方法が主に焼却処分であり、大量の温室効果ガスが排出され、気温上昇に直結するため、“No 持続可能”となっております。

これらの2つのことから注目されたのが“エシカルファッション”です。エシカルファッションの意味を直訳すると「道徳的・倫理的なファッション」と意味になります。分かりやすく説明すると「人や環境に負担をかけないおしゃれの仕方」です。具体的には、おさがりを着る・あげる、店頭においてある回収ボックスに入れる、オーガニック・フェアトレード商品の購入、無駄な買い物をしないことなどが挙げられます。

オーガニック商品は、地球を化学物質で汚染せず、なおかつ労働者の農薬被害も防げることができます。そして、「公正な取引」を意味するフェアトレードの商品を購入することが、途上国の人たちの生活向上や安定した収入につながります。

是非皆さんも今までの自分の消費行動を振り返り、簡単にできることから意識して変えていきましょう！



※ <https://www.yogaroom.jp/yogahack/p/6587>

「『ファストファッション』の裏にある事実と解決策とは？ 私たちにできることから」から引用

参考文献 / 「ザ・トゥルー・コスト〜ファストファッション 真の代償〜」

北九州におけるエシカルの取り組み

北九州では「北九州エシカル推進ネットワークエシカル種まき隊」(エシ種)が主催するイベントなどを通して、エシカルな消費行動を学ぶことができます。2019年5月11日には「フェアトレード」などについての発足イベントが行われました。イベントでは、「フェアトレード」のコーヒー販売を手掛ける「ウインドファーム」(水巻町)の中村隆市代表の講演などが行われました。まだファストファッションが利用されることが多いですが、これからエシカルファッションが注目されるのではないかと期待できます！



エシ種設立メンバー 服部 祐充子 様

今私たちに求められるのは“選択する力”です。

選挙で投票するのと同じくらい大切な選択が日々の消費活動です。「自分のお金で何を買うのか」という選択のひとつが今後の地球に大きく影響してきます!!

また、大人には“伝える責任”があります。伝えることでこれから活躍する若い世代の人が良い選択をできるようにになります!!

ちなみに私の娘は「エシカルウエディング」をしました。

そのような選択を娘ができたのは、このようにエシ種の活動を私がしてきたからだと思います(笑)